

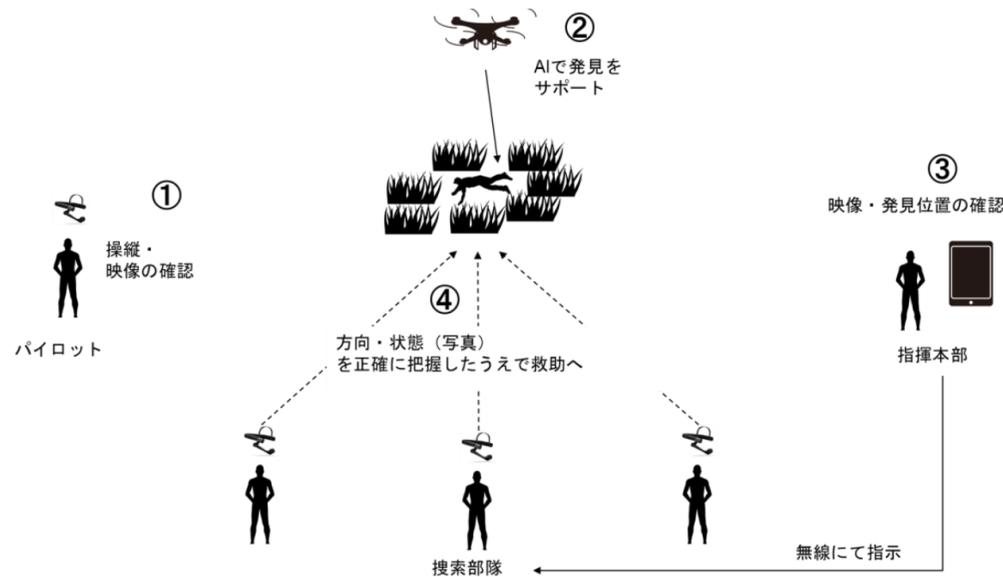
ドローンとAIクラウドソーシングを活用した3rd-EYEシステム及び 最新ロボット技術を使用したUGVによる防災支援

災害用AI機器を活用した山岳救助合同訓練
(消防機関との連携による実証実験訓練)

AI



- 現在の各種災害や事故等において、捜索用ドローンとAI・クラウドソーシングやUGVを活用した要救助者の捜索システム「3rd-EYE」を用いて上空から捜索し映像をAI解析により要救助者の位置や状況を確認し地上捜索部隊のスマートグラスに位置情報を空間表示するとともに捜索本部との情報を共有することにより、要救助者の早期発見・救出及び要救助者までの安全ルートや距離の確認を行いUGV（搬送用ロボット）により速やかな搬送を実施する。



- 最新のデジタル機器の導入への理解を深め、防災・減災のツールとしての有効性や実用性を肌で感じデジタル機器の実装への取組を行う。

* 災害用AI機器を活用した山岳救助合同訓練の実施 (令和4年9月22日 実証実験訓練のPV制作)

- ・備北地区消防組合との連携による実証実験の実施
また、近県の消防及び警察・行政機関の視察・観覧



Filme 動画編集

<https://jp.imyfone.com/filme-video-editor/>

* 実証実験訓練の検証及び各機関からの意見聴取を含めた 実証実験訓練の成果報告書の作成

- * 3rd-EYEシステムや搬送用ロボット（UGV）の災害・事故等に対する実用性が検証され実装の可能性が確認された。
- * 県内及び近県の消防機関や警察・行政等への周知が出来たことにより今後の実施訓練等の対応が可能となった。
- * 3rd-EYEシステムの実証実験の内容によって、様々な事業への展開が検討できるようになった。
（3rd-EYEシステムに対する興味が深まった。）

10月からの課題や 協力を依頼したいこと

- * 今回の実証実験訓練による課題や問題点の解決及びより詳細な実証訓練を行うことにより、より多くの消防機関や災害対応機関に周知し実用化する。

- * 3rd-EYEシステムやUGVの活用について、様々な事業や取組に実用化出来る様に色々な企業との連携や実証を行い新規事業の取組とする。
(様々な企業・団体や個人とのマッチング)